初春

今年は巳年

今年は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人もいるようですが、それは多分にあのグロテスクな姿のせいです。脚部の退化・消失してしまった細長いからだが、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のものです。

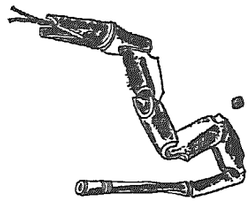
蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拝と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地でみられます。

蛇は、生きている間ずっと成長し続けています。発育にともなって、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換える――脱皮をします。お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。

ところで、年おとこ、年おんなの人達が生まれた年の村の主な出来事をふりかえってみますと、次のようなものが挙げられます。

明治38年
○養蚕を目的とする沢海生産販売組合を設立
大正6年
○阿賀野川改修工事起工式
昭和4年
○旧木津小学校増改築
昭和16年
○尋常小学校が国民小学校となる
昭和28年
○公民館青年学級開設
○神田又一、村手範両氏に名誉村民称号贈呈
○中学校体育館新築
昭和40年
○沢海保育園、小杉児童館建築
○亀田・横越衛生処理組合設立　ごみ、し尿収集開始
昭和52年
○中央保育園改築
○阿賀野川浄水場完成



村の巳年生まれの人 713人

（昭和63年10月1日現在）

年号	人数	総人口対比
明治38年	30人	0.32%
大正6年	60	0.64
昭和4年	126	1.34
昭和16年	110	1.18
昭和28年	131	1.39
昭和40年	98	1.04
昭和52年	158	1.68

年頭のごあいさつ

横越村長　浅見良一

新年を迎え村民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年から進めて参りました老人福祉センターも完成を間近に、いよいよ高齢化時代にふさわしい各種福祉活動が今年からスタートいたします。そのほか六十三年度の主要事業もほぼ計画どおり進展をみております。これも偏へに村民皆様の暖かいご理解ご協力の賜ものと深く感謝申し上げます。

さて、我が横越村も近年様様なプロジェクト事業が展開され、大きく変貌しつゝありますが、今後も更に変化に富む発展がうかがえると思うのであります。

今、最大変化の一つとして内外から熱い視線を集めているのが、今年着工する横雲バイパスの建設（68年全線開通見込）であります。このバイパスは横雲橋の交通渋滞解消が目的であるものの、地域の社会経済など各方面に大きなしげきを与えていることであります。また、新規宅造地域での建築の好況性、更に木津工業団地造成・企業進出の具体化など相まって互いに相乗効果を生むことは想像に難くないところであります。

村の人口も昨年十一月末で九千四百人を超え順調に伸び続けておりまして、一万人の大台に乗るのも今一歩といった状況であります。もとよりこれらは先人が築いた礎が今日の発展をもたらしたものであって、今日なお地域づくり活動が活発に展開され明るい活気が感じられることは誠に喜ばしい限りであります。

しかし今、村の課題も山積しておりますが、特に地場の基幹産業である農業は、内外の厳しい環境下で生き残りをかけた構造転換を余儀なくされており、戦後農業改革の中で最大苦難時代ともいわれ、地域農業の活性化対策は緊急課題であります。一方地域の住民生活と直結する地場の商工業も社会経済の高度化、流通・販売革命や消費ニーズの多様化など農業と同様、厳しい嵐の中にあって経営基盤の強化、構造転換が迫られ、中小商工業の活性化対策も大きな課題であります。従って新年度においては、観光対策を含めた農業、商工業の地場産業の活性化、振興を最重点とする考えであります。

そのほか、本村が更に実力を培い次なる飛躍をするためには、幾多の問題もありますが、住民のニーズでもあり時代の要請でもある村民体育館、信越線の駅などの問題も地域の経済・文化のレベルアップに欠かせない課題であります。

ともあれ今年は、横越村にとって、二十一世紀に向けて大きなステップを踏む年であり、村民の皆様とより一体となって村づくり、産業振興に努力する所存であります。何卒倍旧のご理解ご協力をお願い申し上げまして新年のご挨拶といたします。

郵便局でも郵便による請求ができます

戸籍の謄・抄本　**住民票の写し**

住民記載事項証明

恩給及び年金受給者現況届の証明

一月一日から村内の郵便局四ヶ所で、戸籍謄・抄本や住民票の写しなどが請求できるようになりました。

郵便局でできる交付申請は①戸籍の謄・抄本②住民票の写し③住民記載事項証明④恩給及び年金受給者現況届の証明の四種類です。

手続きは、戸籍の謄・抄本と住民票の写し、住民記載事項証明については、請求者が郵便局窓口にある交付申請用紙に必要事項を記入し、返信用封筒、手数料と同額の定額小為替を同封してポストに投かんすると村は配達された申請内容に応じ、必要書類を請求者に返送します。必要書類が手元に届く日数は請求日の約三日、四日後になります。

なお、往復の封書切手代百二十円と定額小為替の手数料十円は請求者の負担です。

恩給及び年金受給者現況届の証明は、現況届のはがきに四十円切手をはり、役場への送付用封筒に六十円切手をはって、手数料と同額の定額小為替を同封してポストに投かんすると村は現況届けのはがきに証明印を押し、受給者に代って取り扱い官庁へ郵送します。

不正請求を防ぐため、戸籍の謄・抄本を請求できるのは横越村に本籍を有する者で、本人、配偶者、子供、父母、孫、祖父母とし、住民票の写し、住民記載事項証明、恩給及び年金受給者現況届の証明については、横越村に住民登録している者で、本人及び本人と同居の家族だけにそれぞれ限定します。記載に不備がありますと発行できないこともありますので、請求者の電話番号は必ず記入してください。

◎村内の取り扱い郵便局
○横越郵便局
○沢海郵便局
○木津簡易郵便局
○小杉簡易郵便局

◆請求に必要な金額◆

請求に必要なもの	請求の種類		
	戸籍の謄・抄本	住民票の写し 住民記載事項証明	恩給及び年金受給者現況届
1.封筒（郵便局の窓口で用意してあります 封筒代金はサービスです）	無料（2枚）	無料（2枚）	無料（1枚）
2.切手代金	120円	120円	100円
3.証明手数料（郵便局窓口で発行する定額小為替）	300円	200円	200円
4.定額小為替の手数料	10円	10円	10円
◎必要な金額	430円	330円	310円

12月定例議会

昭和六十二年度一般会計決算 特別会計決算認定

十二月定例議会が、十二月十五日から二十三日までの会期九日間で開かれました。

今期定例会は、昭和六十二年度の各会計の決算認定、昭和六十三年度の各会計補正予算、工業団地造成に伴う、工事委託、土地の取得及び老人福祉センターの建設に伴う条例制定等を中心として審議がなされました。

初日及び二日目は本会議が開催され、一般質問と議案審議がなされ、決算及び条例制定については、特別委員会並びに常任委員会に付託されましたが、それ以外の議案については、原案どおり可決されました。

付託された案件は、最終日の二十三日にそれぞれ、認定、可決されました。また人事院勧告に伴う職員の給与に関する条例の一部改正並びに関連の補正予算も可決されました。

おもな議案

■阿賀野川右岸水防協議会の廃止

阿賀野川の整備、改修も進み洪水等による水害の心配もほとんどなくなったことと併せて、建設省阿賀野川工事事務所を中心に阿賀両岸沿線の市町村等で組織する「阿賀野川水防連絡会」が設置され、水防体制も強化されてきたため六十四年三月末をもって廃止するもの。

■工事委託契約の締結

工業団地造成に関連する排水路の改修工事を三、六〇〇万円で亀田郷土地改良区に委託するもの。

■土地の取得

工業団地造成の用地買収で一万七、六九〇㎡を一億五、四七八万円で買収するもの。

■横越村老人福祉センター条例

■横越村デイ・サービスセンター条例

現在建設中の福祉センター・デイ・サービスセンターの完成、オープンに向けてこれらの施設の設置並びに管理について必要な事項を定めるもの。

■昭和六十三年度補正予算

会計名	補正額	主な補正予算
一般会計	（減額）一一〇万円	総務費需用費 二二〇万円 老人福祉センター竣工式費用 一一〇万円 農道舗装負担金 一〇〇万円 中学校建設費 △一、一二〇万円 中学校グランド測量委託料 五〇万円
国保会計	九〇万円	保険給付費 九〇万円
農業共済	（減額）二六〇万円	農作物勘定 △三〇八万円 家畜勘定 一五五万円 果樹勘定 △一〇七万円
下水道	七五〇万円	公共下水道事業費 七五〇万円

■昭和六十二年度一般会計決算認定（詳細は広報八月号を参照）

■昭和六十二年度国民健康保険特別会計決算認定（以下各特別会計の詳細は広報九月号を参照）

■昭和六十二年度農業共済特別会計決算認定

■昭和六十二年度下水道事業特別会計決算認定

■昭和六十二年度老人保健特別会計決算認定

昭和64年度 新春俳句大会 大勢の方の投句を

恒例の新春俳句大会を一月二十二日(日)午前十時より横越村公民館で開催します。大勢のご投句を歓迎します。

席題　○七種（ななくさ）　○初夢（はつゆめ）　○注連飾（しめかざり）

三題通じて六句を、二十二日午前十一時まで横越村公民館に投句してください。

※大会後、希望者による懇親会を用意してあります。（会費は昼食を含め千五百円を予定）